

あめふり じかた  
雨降って地固まる Adversity strengthens the foundations

## シネマニッポン 第30回目

第30回目のシネマニッポンは8月2日から4日まで、ニュータウンの中心部にある「ナズルル ティルタ」という文化センターで開催された。このイベントは在コルカタ日本総領事館とHIDCOの共催だった。有名な黒澤明監督の映画を初め最近の若者に人気の新海誠監督の映画まで合計で5本の映画が上映された。シネマニッポンは夙賀 政幸総領事、田村 理紗副領事、HIDCOの社長のデバシシュ セン氏、NKK会長のプナム ナンダ デ先生が御臨席された。



最終日のナズルル ティルタは超満員で観衆は深海誠監督の「星を追う子ども」という素晴らしい映画を見に来られた。シネマニッポンは小津安二郎監督による「小早川家の秋」の上映で幕を閉じた。

映画は観客に好評でシネマニッポンはいつものように大成功だった。

アマシャ バナルジジー

## 新入生歓迎会



初日、有名なシェイクスピア劇に基づいた2本の映画が上映された。その一つは「マクベス」に基づいた黒沢監督の「蜘蛛巣城」で次は「ミッドサマー ナイツ ドリーム」に基づいた中江裕司監督の「真夏の夜の夢」だった。何か技術的な問題があり2日目の最初



の映画はキャンセルされた。でも次の映画(2回上映された)はそれを補った。その日に予定されていた映画は、黒澤明監督の「天国と地獄」と新海誠監督の「雲のむこう、約束の場所」だった。



7月31日、NKKは、サラットサミティーで開催された文化プログラムを通じて、日本語を学なび始めた新入生を紹介した。RKMとIJLSSの両方から約50人の学生が活発で熱意をもってこのプログラムに参加した。若い学生も古いヒンディー語のビンテージ曲から現代の朗読曲まで、良いショーを展開した。参加者はそれを心から楽しんだ。NKKの会長のプナム ナンダ デ先生が素晴らしいスピーチをされた。新会員向けの短いクイズが実施された。先輩のメンバーは新入生に愛情を込めて「幸せなら...」という歌も歌った。スナックを楽しみ、教師と生徒達は軽い気持ちでホールを去った。

ウッタラ サークル

### 9月・10月のプログラム

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ◆22回日本語クイズ   | 2019年9月14日  |
| シバナダ ホール RKM | 午後2時        |
| ◆ビジョヤ サンミラニ: | 2019年10月30日 |
| サラット サミティーで  | 夜6時半        |

## 奈良部 健さんとのインタビュー

「朝日新聞」という日刊新聞の南アジア支局長の奈良部 健氏は現在ニューデリーにお住まい。記者としてご自分の仕事を楽しんでおられる。インド以外にも、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、モルディブ、ブータンについても朝日新聞で政治や経済、文化などの分野で、報告されている。奈良部さんが初めて訪印されたのは印日学生会議の時。私たちは二ガム先生のお宅で彼の現在の仕事での情熱、趣味や学生会議の思い出等様々なことについてお話をした。



います。彼女は初めてご両親無しで一泊旅行をしたので寂しかったと言っていました。インドの家族の結びつきの強さを知りました。

Q: コルカタでのホームステイのことを覚えていますか。

A: よく覚えていますよ。それはアビク チャタルジーさん

のお宅でした。そこで私がうけた暖かい愛情を今も感じられます。すてきなお祖母ちゃんご家族の皆様のおもてなしは感動的でした。

Q: 学生会議の際学生たちが舞台上で色々な演技等しましたが、そこで奈良部さんも参加されたのでしょうか。

A: はい、他の日本人学生と一緒に合唱をしました。

Q: 大学での専攻科目は何でしたか。

A: 政治と言語学。東京の慶應義塾大学で勉強しました。

Q: なぜその科目を選ばれましたか。

A: 実際、私はこれらの科目を学ぶことで様々な国と国際的に関わりたいと思っていました。より多くの機会を得ることができると考えました。言葉を学ぶのも好きでした。

Q: チェンナイに行かれた時タミール語（南インド語の一つ）も学んだそうですね。

A: 学生会議に参加する際インド文化の多様性について勉強しました。タミールナドゥ州のことを学び、タミール語に対しても興味をおぼえました。学生会議が終わり帰国しましたが、私はまたインドに来てタミールナドゥ州に行きました。その頃私は大野晋さんという日本人学者にも影響されました。日本語はタミール語がオリジンだという学説を唱えていました。

Q: 奈良部さんはどこで生まれたのでしょうか。

A: 東京です。

Q: 仕事関係で多くの国へ行かれましたか。

A: はい、私はバングラデシュやフランス、ドイツ、多くの国を訪問しました。一米国などいろんな人々とそれらの文化のカラフルな経験で豊かになりました。

Q: インド人についての印象は？

インタビューの抜粋：

Q: 新聞記者の仕事をついつから始められましたか。

A: 2005年から新聞記者の仕事をはじめました。今ニューデリーに住んでいます。

Q: 2003年に印日学生会議の参加者として来られたのはよく覚えています。

A: はい。その思い出をととても大切にしています。

Q: それは初めの訪印でしたか。

A: 実は、私はその数ヶ月前に学生会議の参加者の何人かと一緒にインドに来て、会議の様々な準備を調査しました。それがインドへの最初の訪問でした。その後、会議の為に再び来ました。

Q: 学生会議の思い出は？

A: インド側の幾人かの学生を覚えています。コエル スールさん、デバパルナさん、アビク チャタルジーさんは私のグループでした。その際サンジョイエ ガングリさん、現在日本語会話協会の事務局長と会いました。彼は心の広い人です。今までお会いした皆様と連絡を続けています。

Q: その会議の特別な思い出は？

A: インドの友人たちと一緒にマザーハウスでボランティアをしたり、いろいろなテーマについて議論をしたりしたことがとても楽しかったです。インドの友人の中には、一緒にマザーハウスに行ったことがきっかけで人のための仕事をしたいと思い、NGOで働いている人もいます。

Q: 一泊旅行もされましたね。

A: はい。それも楽しかったです。今はその場所の名前を思い出せませんが、私と一緒に行ったインド人のイリーナさんのことを今でも覚えて

次ページに続く....

前頁から続く

A: 彼らは本当に親切で、もてなしが良くて元気な人だと思います。

Q: 趣味は？

A: ピアノを弾くこと、読書、テニスをすること、新しい土地に行くこと等です。

Q: 映画が好きですか。

A: とても楽しく見ます。日本語の映画以外「ボリウッド」（インドのムンバイで撮影した映画）の映画も大好きです。

Q: その映画の一つの名前を教えてください。

A: 最近のヒンディー語の映画では *Pink* と *Padmavat*, *PK*, *Hindi Medium*, *Padman*, *Madam in New York*, *Dangal*, *Barfi*, *Om Shanti Om*。サテヤジット レー監督の映画も好きです。

Q: ニューデリーの観光地を見物されましたか。

A: クトゥブ ミナール、レッド フォートとアグラのタージ マハルへ行きました。

Q: 何か特別な思い出がありますか。

A: デリーでホームステイするとき温かいおもてなしや親切さのいい経験があります。その時パキスタンに行きたかったのですが、友達のお母さんはそこに行くことを禁じました。それなのに私は行くことにしました。ニューデリーからアムリットサル、そしてそこからラホールまでの電車の途中で友達のお母さんが作って下さったお弁当を開けました。私は中身の「アレルギー パラタ」（ゆでたジャガイモが入っていた焼きパン）に触れた時私に対する心配と彼女の深い愛情を考え始めました。その愛情は今でも感じています。

アロックバス

## 藤子不二雄

どなたですか？



お 2 人の日本の漫画家によって形成された漫画執筆デュオのペンネーム。ドラえもん、忍者ハットリくん、スケコロ、キテレッツ、パー

マンとミス・ドラキュラを作成した日本の漫画家デュオ。私たちの子供時代を作った彼らに感謝しましょう！

サンジョ ガングリ



## NKKS 創立 記念日の お祝い

2019 年 8 月 15 日、NKKS は 35 周年創立記念日を迎えた。毎年のように多くの

メンバー、若いも若きもがニガム先生のお宅に集まり、何年にも渡って築かれてきたこの



終わりのない友情の古い絆を強め新しいリンクにつなげてお祝いした。メンバーたちは自分で小さなプログラムの準備をした。アラトリカさん、ナムラタさん、モウミタさん、ドランさん

は「若者たち」をギター伴奏で上手に歌った。リドディさんとスミリティマンさんは他の多くの人と一緒に美しく歌い、皆の笑顔、歓声と拍手を得た。次々と日本のメロディーの一連の後、アーディティヤ ラジさんによってヒップホップともう一人のアーディティヤさんによるラップのパフォーマンスがあり皆は心から楽しんだ。P. S. ミトラさんが



お祝いの言葉を述べられた。そのあと尊敬するニガム先生と先生のお母様の藤原智

恵子様が思いやりを込めた楽しいデュエットを歌われた。藤原智恵子様は、NKKS の成長する家族のためより良い未来を願って、私たち全員がこの協会のために歌う中誕生日のケーキを切ってくださいました。ケーキをみんなに配りスナックを食べてこの祝いが終了した。

この 35 年間、NKKS は単なる協会ではなかった。それは最初から家族のようだった。この家族はだんだん成長し続け、チェーンが終わることは決して考えられないだろう。

ロハン・バタチャリヤ

日本語クロスワード  
(9月 - 10月)

1	2	3	4	5	
6					7
8			9		
	10	11			
12				13	
14			15		

**ACROSS**

- 1) Over sleeping
- 6) Supreme court
- 8) Colour
- 9) World bank
- 10) Atmosphere
- 13) To win
- 14) Silk
- 15) Steamer

**DOWN**

- 1) Shallow
- 2) Recording
- 3) Cat
- 4) Spinning
- 5) Rabbit
- 7) Printing press
- 11) Ocean
- 12) Flower vase
- 13) Song lyrics

モハシユウエータ バス ムカルジー

(7月-8月)

日本語クロスワードの答

1 さ	2 い	3 か	い	4 は	5 つ
6 い	し	き		7 た	か
こ		8 と	う	ら	い
9 う	10 け	る		11 き	か
12 さ	る		13 す		た
い		14 な	み	だ	

綴り換え-61

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう。



1. ようじゆ (Demand)

○	○		
---	---	--	--

2. みんじゆう (Citizen)

		○		
--	--	---	--	--

3. ぎょうんに (Doll)

○	○			
---	---	--	--	--

4. あせわとい (Inquiry)

○	○			
---	---	--	--	--

5. ろろいい (Various)

	○		
--	---	--	--

ソントウ デップナート

綴り換えの答え-60

- 1. いつすい
- 2. かんさつ
- 3. きはい
- 4. やみいち

い	っ	す	ん	さ	き	は	や	み
---	---	---	---	---	---	---	---	---



編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタルジ

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター